

平成25年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書

(試験期間 25年 9月 ～ 25年11月)

1. 被験物質 (処理区A)

- (1) 一般名・剤型 ①ベルメトリン(アデメトリオン乳剤), ②ビフェントリン(テルスター水和剤), ③ピリダリル(プレオフロアブル), ④イミベンコナゾール(マネジDF), ⑤テブフェンヒラト(ヒラニカ乳剤)。
(2) 有効成分名及び成分含有率 ①ベルメトリン 20.0%, ②ビフェントリン 2.0%, ③ピリダリル 10.0%, ④イミベンコナゾール 30.0%, ⑤テブフェンヒラト 10.0%。
(3) 被験物質のLot No. ①16.10-4J225F, ②16.10TB003, ③15.10 0AA487, ④15.10-HJ222, ⑤14.10 SBF-01G。

被験物質 (処理区B)

- (1) 一般名・剤型 ⑥スピロメシフェン(タニカクッターフロアブル), ⑦アラニカルブ(オリオン水和剤), ⑧ベンチオヒラト(アフェットフロアブル), ⑨マンシブローバミド(レーハスフロアブル), ⑩チオフェネートメチル(トップジンM水和剤)。
(2) 有効成分名及び成分含有率 ⑥スピロメシフェン 30.0%, ⑦アラニカルブ 40.0%, ⑧ベンチオヒラト 20.0%, ⑨マンシブローバミド 23.3%, ⑩チオフェネートメチル 70.0%。
(3) 被験物質のLot No. ⑥16.10 PD13B00004009492, ⑦15.10 2I91, ⑧15.10 2XY50003, ⑨15.10 A3B05, ⑩16.10-HI228。

被験物質 (処理区C, D)

- (1) 一般名・剤型 ⑪シメコナゾール・マンゼブ(テーク水和剤), ⑫シメトモルブ・塩基性塩化銅(フェスティバルC水和剤), ⑬メタラキシルM・TPN(フォリオコートフロアブル), ⑭シノテフラン(スタークル顆粒水溶剤), ⑮フルフェノクスロン(カスケード乳剤)。
(2) 有効成分名及び成分含有率 ⑪シメコナゾール 2.4%・マンゼブ 65.0%, ⑫シメトモルブ 15.0%・塩基性塩化銅 58.8%, ⑬メタラキシルM 3.3%・TPN 32.0%, ⑭シノテフラン 20.0%, ⑮フルフェノクスロン 10.0%。
(3) 被験物質のLot No. ⑪14.10 1YY40001, ⑫16.10-HJ219, ⑬15.10.2905, ⑭15.10 12F50024, ⑮17.10-NA328。

2. 農作物名 すいか

品種名 ひとりじめ

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

試験圃場所在地 高知県香南市野市町深瀬本田1211

4. 試験責任者氏名 松村 栄一, 内藤 覚, 奴田原 誠克, 森 克彦, 川北 充彦, 谷山 頼清。

5. 土性 砂土・砂壤土・壤土(埴埴土) 埴埴土・軽埴土 (○を付す) 減水深 — cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、樹齢、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・トンネル栽培の被覆時期を記載する

露地・施設の別 施設栽培 有袋・無袋の別 —

播種: 平成25年8月17日, 定植: 9月6日, 畝幅: 140cm, 株間: 40cm, 1条植, 約1800株/10a,

マルチ栽培, 施肥: 平成25年8月23日 ケントップ 1500kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a,

こうち園芸ペレット (6-8-4) 117kg/10a, 苦土石灰 100kg/10a。

その他管理は慣行に従った。 人工交配: 9月30日~10月8日。

収穫期間(適期): 平成25年11月中旬。

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ — を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬 (別紙としても構いません)

別紙に記載。

10. 試験区

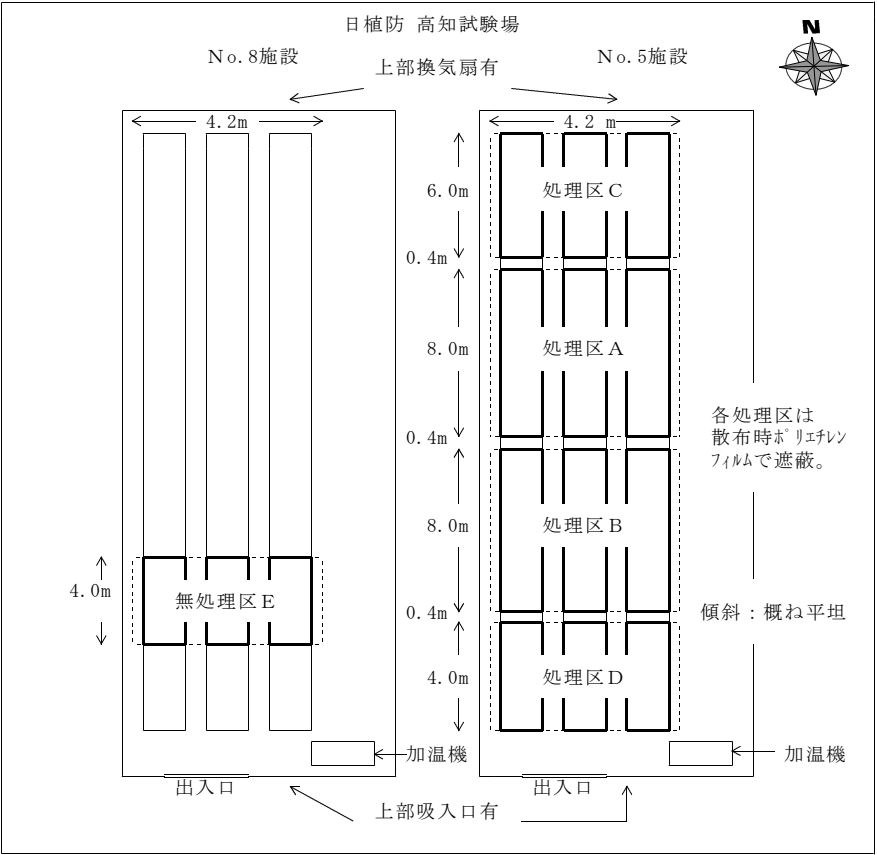
- (1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A, B: 33.6㎡, 60株, 処理区C: 25.2㎡, 45株, 処理区D, 無処理区E: 16.8㎡, 30株
(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 面積: 225㎡, 容積: 680㎡, 高さ: 3.4m

(3) 試験区の配置図 (試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。

ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



[illegible]

区 分	処理方法の詳細、 処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況
処理月日	処理時の環境条件等 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
H25年 1 0 月 1 4 日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；10：30 処理時の天候：晴れ 当日の天候：晴れ
1 0 月 2 1 日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；14：00 処理時の天候：晴れ 当日の天候：晴れ
1 0 月 2 8 日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；13：45 処理時の天候：晴れ 当日の天候：晴れ
1 1 月 4 日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；11：20 処理時の天候：晴れ 当日の天候：晴れ
1 1 月 1 1 日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル 1 頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；14：15 処理時の天候：晴れ 当日の天候：曇
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		
月 日		

濃度または量 —

.....

.....

.....

.....

.....

11. 処理方法（下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する）

区分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法（概略）
							10a当	試験区当(農薬量/散布量/面積)		
H25年10月14日		⑦, ⑩			無処理	⑦1000倍, ⑩1500倍	277L	⑦9.3g, ⑩6.2g /9.3L/33.6㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月21日		⑦, ⑩				⑦1000倍, ⑩1500倍	277L	⑦9.3g, ⑩6.2g /9.3L/33.6㎡	果実肥大期	茎葉散布
10月28日		⑦, ⑧, ⑩				⑦1000倍, ⑧2000倍, ⑩1500倍	277L	⑦9.3g, ⑧4.65mL, ⑩6.2g /9.3L/33.6㎡	成熟期	茎葉散布
11月4日		⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩				⑥2000倍, ⑦1000倍, ⑧2000倍, ⑨2000倍, ⑩1500倍	277L	⑥4.65mL, ⑦9.3g, ⑧4.65mL, ⑨4.65mL, ⑩6.2g /9.3L/33.6㎡	成熟期	茎葉散布
11月11日		⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩				⑥2000倍, ⑦1000倍, ⑧2000倍, ⑨2000倍, ⑩1500倍	277L	⑥4.65mL, ⑦9.3g, ⑧4.65mL, ⑨4.65mL, ⑩6.2g /9.3L/33.6㎡	収穫期	茎葉散布
月 日										
月 日	⑥タニクワターフロアブル ⑦オリオン水和剤 ⑧アフェットフロアブル ⑨レーバースフロアブル ⑩トップジンM水和剤									
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										

区分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
H25年10月14日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；10：30	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ
10月21日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；14：00	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ
10月28日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；13：45	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ
11月4日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；10：55	処理時の天候：晴れ	当日の天候：晴れ
11月11日	背負式バッテリー噴霧機（丸山製作所 MSB111-A）にキョウカコンノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻；14：10	処理時の天候：晴れ	当日の天候：曇
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				
月 日				

(1) 展着剤 使用せず。

使用した区番号

展着剤名

濃度または量

(2) 備考

1 1 . 処理方法 (下のA～G欄へは該当する処理日に「○」あるいは剤型を記載する)

区 分 処理月日	A 区	B 区	C 区	D 区	E 区	処 理 濃 度	処 理 量		処理時の生育 ステージ	処理方法 (概略)
							1 0 a当	試験区当 (農薬量 / 散布量 / 面積)		
H25年 9月30日				⑪	無処理	⑪600倍	2 2 1 L	⑪6. 17g /3. 7L/16. 8㎡	開花結実期	茎葉散布
1 0 月 7 日			⑪	⑪, ⑮		⑪600倍, ⑮2000倍	2 7 8 L 2 7 7 L	⑪11. 67g /7. 0L/25. 2㎡ ⑪7. 83g, ⑮2. 35mL /4. 7L/16. 8㎡	果実肥大期	茎葉散布
1 0 月 1 4 日			⑪, ⑮	⑪, ⑫, ⑬, ⑮		⑪600倍, ⑫1000倍, ⑬800倍, ⑮2000倍	2 7 8 L 2 7 7 L	⑪11. 67g, ⑮3. 5mL /7. 0L/25. 2㎡ ⑪7. 83g, ⑫4. 7g, ⑬5. 88mL, ⑮2. 35mL /4. 7L/16. 8㎡	果実肥大期	茎葉散布
1 0 月 2 1 日			⑪, ⑫, ⑬, ⑮	⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮		⑪600倍, ⑫1000倍, ⑬800倍, ⑭2000倍, ⑮2000倍	2 7 8 L 2 7 7 L	⑪11. 67g, ⑫7. 0g, ⑬8. 75mL, ⑮3. 5mL /7. 0L/25. 2㎡ ⑪7. 83g, ⑫4. 7g, ⑬5. 88mL, ⑭2. 35g, ⑮2. 35mL /4. 7L/16. 8㎡	果実肥大期	茎葉散布
1 0 月 2 8 日			⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮	⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮		⑪600倍, ⑫1000倍, ⑬800倍, ⑭2000倍, ⑮2000倍	2 7 8 L 2 7 7 L	⑪11. 67g, ⑫7. 0g, ⑬8. 75mL, ⑭3. 5g, ⑮3. 5mL /7. 0L/25. 2㎡ ⑪7. 83g, ⑫4. 7g, ⑬5. 88mL, ⑭2. 35g, ⑮2. 35mL /4. 7L/16. 8㎡	成熟期	茎葉散布
1 1 月 4 日			⑪, ⑫, ⑬, ⑭, ⑮			⑪600倍, ⑫1000倍, ⑬800倍, ⑭2000倍, ⑮2000倍	2 7 8 L	⑪11. 67g, ⑫7. 0g, ⑬8. 75mL, ⑭3. 5g, ⑮3. 5mL /7. 0L/25. 2㎡	成熟期	茎葉散布
月 日										
月 日	⑪テーク水中和剤 ⑫フェステイバルC水中和剤 ⑬フォリオコートフロアブル ⑭スタークル顆粒水溶剤 ⑮カスケード乳剤									
月 日										
月 日										
月 日										
月 日										

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況	
		特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する	
H25年 9月30日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; D区 : 16 : 30	処理時の天候 : 晴れ 当日の天候 : 曇
1 0 月 7 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; C区 : 16 : 30, D区 : 16 : 30	処理時の天候 : 曇 当日の天候 : 曇
1 0 月 1 4 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; C区 : 10 : 40, D区 : 10 : 30	処理時の天候 : 晴れ 当日の天候 : 晴れ
1 0 月 2 1 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; C区 : 14 : 10, D区 : 14 : 00	処理時の天候 : 晴れ 当日の天候 : 晴れ
1 0 月 2 8 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; C区 : 15 : 00, D区 : 13 : 45	処理時の天候 : 晴れ 当日の天候 : 晴れ
1 1 月 4 日	背負式バッテリー噴霧機 (丸山製作所 MSB111-A) にキョウカコンソノズル1頭口を装着し均一に散布。	処理開始時刻 ; C区 : 10 : 55	処理時の天候 : 晴れ 当日の天候 : 晴れ
月 日			

(1) 展着剤 使用せず。 使用した区番号 ー 展着剤名 ー 濃度または量 ー

(2) 備考 ー

12. 試料採取（試料番号は試料送付時に「送付カード」（別添様式）に記入したものを記載する）

区分 採取月日	A区 試料番号	B区 試料番号	C区 試料番号	D区 試料番号	E区 試料番号	F区 試料番号	G区 試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
H25.11月11日			C-1		E (無処理)			採取 8:40 ~ 9:10 天候：晴れ	E → C	C区：6個(10.9kg) E区：12個(17.1kg) × 1分析	11月11日
11月12日	A-1	B-1						採取 10:15 ~ 10:30 天候：晴れ	A → B	A区：6個(10.7kg) B区：6個(10.5kg) × 1分析	11月12日
11月14日	A-2	B-2						採取 11:00 ~ 11:20 天候：晴れ	B → A	A区：6個(10.6kg) B区：6個(10.5kg) × 1分析	11月14日
11月18日	A-3	B-3	C-2	D				採取 10:40 ~ 11:10 天候：晴れ	B → A → D → C	A区：6個(10.4kg) B区：6個(10.5kg) C区：6個(10.5kg) D区：6個(10.5kg) × 1分析	11月18日
月 日										各区 以上 × 分析	月 日

区分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
H25.11月11日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
11月12日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
11月14日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
11月18日	1. 試料の大きさは（やや大きい ☒ 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い ☒ 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因
月 日	1. 試料の大きさは（やや大きい 通常 やや小さい 大きさにバラツキがある）2. 熟期は（やや早い 通常 やや過熟） 3. その他（ ） 4. 原因

(1) 試料採取方法

使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

各処理区および無処理区試料は、試験区の境界部を除く試験区全体から鉢を用いて採取した。

採取した試料は、直ちに採取用カゴに入れた。そして場内の試料調製室まで運んだ。

(2) 採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱穀・脱すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

果実を個別に包装紙で包みポリエチレン袋に入れた後、ダンボール箱に入れ梱包した。破損防止のためダンボール箱の底にエアークッションを入れ、ダンボール箱外の底周囲にはエアークッションを
貼り付けた。緩衝材として包装紙を使用した。ダンボール箱の内側には試験区ラベルを、外側には梱包シールを貼り梱包した。

試験区ごと別々に梱包した。

(3) 試料送付先

分析機関：株式会社 化学分析コンサルタント

(4) 試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

到着日を送付翌日に指定し、ヤマト運輸株式会社の冷蔵便で送付した。

(5) 備考

—

無処理区に使用した施設 (No. 8)

平成24年秋冬作：かぶ

平成24年.9/28 クロール® クリン液剤 31.1L/10a 土壌注入,
11/6 モスピラン水溶剤 2000倍, アファーム乳剤 2000倍 散布。

平成24年秋冬作：セルリー

平成25年. 3/14 アファーム乳剤 2000倍, アミスター207プロア[®] 2000倍 散布,
3/25, 4/1, 8 アニ乳剤 1000倍 散布。

平成25年春夏作：すいか

平成25年. 5/28 ベストコート®水溶剤 1000倍 散布,
6/3, 10, 17, 24, 7/1, 8 テーク水和剤 600倍 散布,
6/10, 17, 24, 7/1, 8 カスケード®乳剤 2000倍 散布,
6/17, 24, 7/1, 8 フェスティバル®水和剤 1000倍, フォリコ®ゴールド®フロア® 800倍, オリオン水和剤 1000倍,
トップシモンM水和剤 1500倍 散布, アティオン®乳剤 2000倍 散布,
6/24, 7/1, 8 テルスター®水和剤 1000倍, マネージ®DF 2000倍, スタークル®顆粒水和剤 2000倍 散布,
6/25 アファーム®乳剤 1000倍, アドマイヤ®顆粒水和剤 10000倍 散布,
7/1, 8 アフェット®フロア® 2000倍 散布,
7/5 ハチハチ®乳剤 1000倍, カネマイト®フロア® 1000倍 散布,
7/8 ブレオ®フロア® 1000倍, レーバ®スフロア® 2000倍, ダニゲッター®フロア® 2000倍 散布。

平成25年. 8/22 (育苗期) ロブ[®]ール水和剤 1000倍 散布,

10/2 ア^クリメ^ク 1000倍, ア^トマイ^ヤフ^ア 4000倍, ハ^クカ^トフ^ア 1000倍 散布,
10/4 フ^レハ^クソ^ンフ^ア 2000倍 散布。

H 2 5 グループ化（すいか）

試験場名 一般社団法人 日本植物防疫協会 高知試験場

気 象 表

観測地点および試料調製場所：高知県香南市野市町深淵 日本植物防疫協会 高知試験場

気温：平均気温（ 1 時間毎） 降水量：日界 時

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

（ 2 5 年 ）

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9	気温（施設内温度）																														24.6	
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																														○	
	区記号（試料番号）																														D	
1 0	気温（施設内温度）	25.4	25.4	24.9	24.0	22.1	25.8	24.6	25.8	28.7	28.2	26.4	23.0	22.2	22.0	21.0	21.8	20.2	20.8	21.9	21.6	22.8	21.9	21.3	22.1	20.0	21.0	18.7	18.3	19.8	19.8	19.5
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取							○							○							○							○			
	区記号（試料番号）							C, D							A, B, C, D							A, B, C, D							A, B, C, D			
1 1	気温（施設内温度）	21.2	20.2	21.9	21.3	18.9	20.3	20.4	18.7	19.7	20.2	17.1	16.2	16.8	16.5	17.1	17.1	16.7	16.0													
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取				○							○/△	△		△				△													
	区記号（試料番号）				A, B, C							A, B/ C-1, E	A-1, B-1		A-2, B-2				A-3, B-3, C-2, D													
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号（試験区ラベルと同様の番号）を当該欄へ記入する。

施設内気温測定には、テークサー（株式会社 ティアンドティ おんどとり TR-71Ui）を使用した。

写真 1. 処理区全景



写真 2. 処理区全景



写真 3. 9月30日処理時の果実の大きさ



写真 4. 10月7日処理時の果実の大きさ



写真 5. 10月14日処理時の果実の大きさ



写真 6. 10月21日処理時の果実の大きさ



写真 7. 10月28日処理時の果実の大きさ



写真 8. 11月4日処理時の果実の大きさ



写真 9. 11月11日処理時の果実の大きさ



写真 1 0 . 11月11日採取試料の果実の大きさ



写真 1 1 . 11月12日採取試料の果実の大きさ



写真 1 2 . 11月14日採取試料の果実の大きさ



写真 1 3 . 11月18日採取試料の果実の大きさ



平成 25年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書
(試験期間 25年 5月 ～ 25年 6月)

試験場名 (一社)日本植物防疫協会宮崎試験場

1. 被験物質

(1)一般名・剤型 ①ベ^ルメトリン(アデ^イオン)乳剤、②ビ^{フェ}ントリン(テルスター)水和剤、③ビ^リダ^リル(ア^レオ)フロア^ブル
④イ^ミベ^ンコナ^ソール(マネ^シ)DF、⑤テ^フフェンビ^ラト^ス(ビ^ラニカ)乳剤、⑥スビ^ロメシフェン(タ^ニゲ^ッター)フロア^ブル
⑦ア^ラニカル^ブ(オリ^オン)水和剤、⑧ベ^ンチ^オビ^ラト^ス(ア^フェット)フロア^ブル、⑨マン^シブ^ロハ^ミト^ス(レ^ハス)フロア^ブル
(2)有効成分名及び成分含有率 ①ベ^ルメトリン 20.0% ②ビ^{フェ}ントリン 2.0% ③ビ^リダ^リル 10.0%
④イ^ミベ^ンコナ^ソール 30.0% ⑤テ^フフェンビ^ラト^ス 10.0% ⑥スビ^ロメシフェン 30.0% ⑦ア^ラニカル^ブ 40.0%
⑧ベ^ンチ^オビ^ラト^ス 20.0% ⑨マン^シブ^ロハ^ミト^ス 23.3%
(3)被験物質のLot No. ①4J225F ②TBB003 ③0AA487 ④HJ222 ⑤SBF-01G ⑥PD13B0004009506
⑦2191 ⑧2XY50003 ⑨A3B05

2. 農作物名および品種名 すいか（小玉） 品種名 ひとりじめHM(台木：かちどき2号)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿、和田倉 誠也、日高 正浩、福元 義人、井園 佳文、舟木 勇樹

5. 土性 砂壤土 減水深 ー cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬（別紙としても構いません）

別紙に記載

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、栽植密度（畝間・株間）・株数(10a)、水管理等、
被覆資材（茶は寒れい紗番号）、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・イチゴ栽培の被覆時期を記載する。
施設(ビニルハウス)加温栽培 無袋 播種：平成25年3月18日（台木：3月15日） 定植：4月25日
畝間：2.5m 株間：0.3m 1条植え・主枝2本仕立て 栽植本数(10aあたり)およそ1,300株
施肥(10aあたり) 4月12日 有機配合888号(8-8-8)63kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12)42kg
受粉期間：5月15日～5月22日 収穫期間（適期）：平成25年 6月下旬

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ ー
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬（別紙としても構いません）

平成25年4月24日 コルト顆粒水和剤 3000倍 モレスタン水和剤 3000倍 スミレックス水和剤 1000倍(育苗期)
5月16日 モレスタン水和剤 2000倍 スミレックス水和剤 1000倍 コルト顆粒水和剤 3000倍
5月29日 スミレックス水和剤 1000倍 ジマンタ^イセン水和剤 800倍 コルト顆粒水和剤 4000倍 イオリフロア^ブル 500倍
ランマンフロア^ブル 1000倍

10. 備考

本作物は当初、別試験の目的のため栽培していたが、急遽取りやめとなりました、他の試験への切り替えが
できなかったことから本事業に利用する事とした。
なお、試験開始時にすでに受粉が始まっていたことから、処理区Cおよび処理区Dの試験設計とあわず、採取
ができないこと、処理区BのトップジンM水和剤の試験設計（散布回数）が当初間違っていたため、
トップジンM水和剤区は処理区Cに含め、処理区Cおよび処理区Dは秋作で実施する。

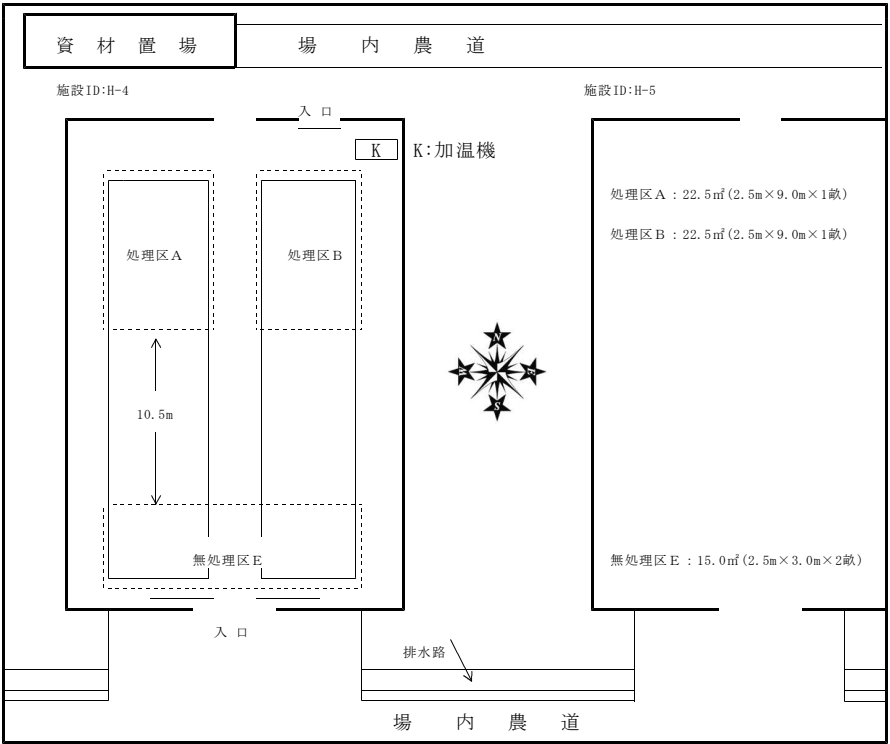
11. 試験区

(1) 1試験区の面積および本(株)数 処理区A：22.5㎡(30株) 処理区B：22.5㎡(30株)
無処理区E：15.0㎡(20株)

(2) 施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡(6.0m×25.0m)、400m3、最高位3.3m

(3) 試験区の配置図（試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません）

ア) 下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長
方向を記載して下さい。
イ) 試験区間および試験区と無処理区との距離を記入して下さい。
ウ) 圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



[illegible]

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、灌水散布時の水管理、 土壌混和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況		
			特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する		
5月20日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB151-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 PM 1:37～, 2:12～	天候: 晴れ	風の影響はなかった。処理後の日中の天気は晴れ。
5月27日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB151-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 AM10:36～, 11:14～	天候: 曇り	風の影響はなかった。処理後の日中の天気は曇り時々雨。
6月3日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB151-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 AM 10:43～, 11:23～	天候: 曇り	風の影響はなかった。処理後の日中の天気は曇り。
6月10日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB151-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 PM2:15～, 3:00～	天候: 雨	風の影響はなかった。処理後の日中の天気は雨。
6月17日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB151-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 AM 9:05～, 9:44～	天候: 晴れ	風の影響はなかった。処理後の日中の天気は晴れ。

(1) 展着剤	使用した区番号	一	展着剤名	濃度または量
---------	---------	---	------	--------

(2) 備考

H 2 5－グループ化（すいか）

試験場名（一社）日本植物防疫協会宮崎試験場

1 3．試料採取（試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する）

区 分 採取月日	処理区A 試料番号	処理区B 試料番号	無処理区E 試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
6月18日	A－1	B－1	E					晴れ AM 5:24～5:30, 6:01～6:04, 6:05～6:08	E → B → A	無処理区E：21kg以上/12個 各処理区：各10kg以上/6個	6月18日
6月20日	A－2	B－2						曇り AM 8:16～8:21	B → A	各処理区：各9kg以上/6個	6月20日
6月24日	A－3	B－3						雨 AM 8:23～8:27	B → A	各処理区：各10kg以上/6個	6月24日
月 日											月 日
月 日											月 日
月 日											月 日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
6月18日	1．試料の大きさは（通常） 2．熟期は（通常） 3．その他（－） 4．原因
6月20日	1．試料の大きさは（通常） 2．熟期は（通常） 3．その他（－） 4．原因
6月24日	1．試料の大きさは（通常） 2．熟期は（通常） 3．その他（－） 4．原因
月 日	
月 日	
月 日	

（1）試料採取方法

使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区、無処理区ともに区境を除き、かつ試験区の全体よりハサミを用いて果実を採取し、試験施設の入口付近に駐車した車両まで手で運び、
車内に準備したカゴに果実を静かに入れた。なお、カゴには包装資材を敷き、試験区毎にそのカゴおよび使い捨て手袋を新しいものに交換、ハサミは水道水で洗浄した。

（2）採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱殻・粗すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

試料は1個毎に包装資材で包み、それを2重にしたポリ袋に入れ口は縛らず、果実の下側より2枚重ねにした
安全キャップ（小）でくるんだ。その試料は試験区毎に安全キャップ（大）および包装資材を敷いたダンボール箱に入れその上部の空間を包装資材と安全キャップ（大）で埋めた。
なお、試験区毎に別梱包した。また、無処理区試料のみ1回に12個送付するため2箱に分けて梱包、送付した。

（3）試料送付先

分析機関： 株式会社 化学分析コンサルタント

（4）試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の便で、送付翌々日着および冷蔵を指定し送付した。

（5）備考

気 象 表

観測地点および試料調製場所 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

気温：平均気温（1 時間毎） 降水量：日界 時
（ 25 年） 測定時刻 午前 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	気温（施設内温度）																				27.4	26.2	26.2	26.3	27.8	28.3	27.9	23.8	24.0	31.1	26.7	25.1
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																				○							○				
	区記号（試料番号）																				AB							AB				
6	気温（施設内温度）	21.3	20.9	23.1	29.4	24.1	24.4	27.2	25.0	21.1	23.2	24.6	29.3	32.3	31.5	28.3	30.8	31.8	31.6	31.6	31.8	25.1	28.8	25.9	23.8							
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取			○							○							○	△		△				△							
	区記号（試料番号）			AB							AB							AB	C, A-1, B-1	A-2, B-2				A-3, B-3								
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号を当該欄へ記入する。

測定機器：気温 T & D おんどとり T R - 7 1 U i
雨量 T & D あめんぼ R F 3 + 太田計器製作所 転倒型雨量計

6. 過去 1 年間に作付けした作物および使用した農薬

平成 2 4 年 春 (漬物用メロン)

平成24年4月24日, 30日, 5月6日 エキゾン水溶剤 2000倍

5月21日 エスキャン水和剤 3000倍, ダントツ水溶剤 2000倍, フラーム乳剤 1000倍,

ライオプロアール 2000倍

5月22日, 6月1日, 11日 イソップザン(NC-233)フロアール20 1000倍, エスキャン水和剤 3000倍

平成 2 4 年 夏 (トマト)

7月2日 ダニールくん煙剤 200g/400m³

(――)

8月29日 クロピクテージ 110m/100m²

9月13日 クロピククリン・ホスチアート(NK-1002)くん蒸剤 100倍 3^{リットル}/m²畝全面灌注処理

平成 2 4 年 秋 (いちご)

9月27日 ネキック粒剤 20kg/10a 定植当日全面土壌混和处理

12月3日 イミダホス(AKD-3088)液剤 4000倍 2000^{リットル}/10a畝全面灌注処理

12月5日 カートホージ液剤 4000倍 2^{リットル}/m²畝全面灌注処理

10月11日 粘着くん液剤 100倍

10月19日 エスキャン水和剤 3000倍, ジンザクイソ水和剤 600倍, フラーム乳剤 1000倍,

エキゾン水溶剤 2000倍

11月8日 粘着くん液剤 100倍

11月21日 イオプロアール 500倍, エキゾン水溶剤 2000倍, カンタストライプロアール 1000倍

平成25年1月3日 粘着くん液剤 100倍

2月19日 粘着くん液剤 100倍

3月4日 フラーム乳剤 2000倍, フルピカプロアール 2000倍

3月13日 フラーム乳剤 2000倍, 粘着くん液剤 100倍

2月26日, 3月5日, 12日, 19日 S-2200SC 1000倍, ピクシオDF 2000倍,

スリックス水和剤 2000倍

2月26日, 3月5日, 12日, 19日 IKF-415WG 1000倍 KC-26837乳剤 500倍, 1000倍,

フルピプロアール 2000倍



試験を実施した施設



処理区A（左側）および処理区B（右側）



第一回処理日の5月20日



第2回処理日の5月27日



第3回処理日の6月3日



第5回処理日の6月17日

平成 25 年度 農薬作物残留量分析試料調製明細書
(試験期間 25 年 9 月 ~ 25 年 11 月)

試験場名 (一社)日本植物防疫協会宮崎試験場

1. 被験物質

- (1)一般名・剤型 ⑩チオファネートメチル(トップジンM)水和剤, ⑪シメコナゾール・マンゼブ(テーク)水和剤,
⑫ジメトモルフ・塩基性塩化銅(フェスティバルC)水和剤, ⑬メタラキシルM・TPN(フォリオコート)フロアブル,
⑭ジメノテフラン(スカークル)顆粒水溶剤, ⑮フルフェノクスロン(カスケード)乳剤
- (2)有効成分名及び成分含有率 ⑩チオファネートメチル 70.0% ⑪シメコナゾール 2.4%・マンゼブ 65.0%
⑫ジメトモルフ 15.0%・塩基性塩化銅 58.8%
⑬メタラキシルM 3.3%・TPN 32.0% ⑭ジメノテフラン 20.0% ⑮フルフェノクスロン 10.0%
- (3)被験物質のLot No. ⑩HI228 ⑪1YY40001 ⑫HJ2190AA487 ⑬2905 ⑭12F50024
⑮NA328

2. 農作物名および品種名 すいか(小玉) 品種名 ひとりじめHM(台木:かちどき2号)

3. 試験実施機関名 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場

試験圃場所在地 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 試験場内施設

4. 試験責任者氏名 櫻井 昭寿、和田倉 誠也、日高 正浩、福元 義人、井園 佳文、舟木 勇樹

5. 土性 砂壤土 減水深 ー cm/日

6. 過去1年間に作付けした作物および使用した農薬(別紙としても構いません)

別紙に記載

7. 栽培概要 播種期、移植期、施肥の種類・量・時期、栽植密度(畝間・株間)・株数(/10a)、水管理等、
被覆資材(茶は寒れい紗番号)、いちご・おうとう等の被覆時期、茶の寒れい紗・イチゴ栽培の被覆時期を記載する

施設(ビニルハウス)加温栽培 無袋 播種:平成25年8月16日(台木:8月14日) 定植:9月12日

畝間:2.5m 株間:0.3m 1条植え・主枝2本仕立て 栽植本数(10aあたり)およそ1,300株

施肥(10aあたり)8月29日 堆肥 3000kg 苦土石灰 120kg

有機配合888号(8-8-8) 75kg CDU複合燐加安特S222(12-12-12)50kg

受粉期間:10月05日~10月11日 収穫期間(適期):平成25年11月中旬~

8. 生育ステージ 試験計画書に指定された生育ステージ
を記入して下さい。

9. 被験物質以外に使用した農薬(別紙としても構いません)

平成25年9月25日 ダントツ水溶剤 2000倍 アファム乳剤 1000倍 イオフロアブル 500倍

10月11日 コルト顆粒水和剤 4000倍 アファム乳剤 1000倍 イオフロアブル 500倍 カンタストライフロアブル 1000倍

10. 試験区

(1)1試験区の面積および本(株)数 処理区C:22.5㎡(30株) 処理区D:15.0㎡(20株)

無処理区E:9.8㎡(13株)

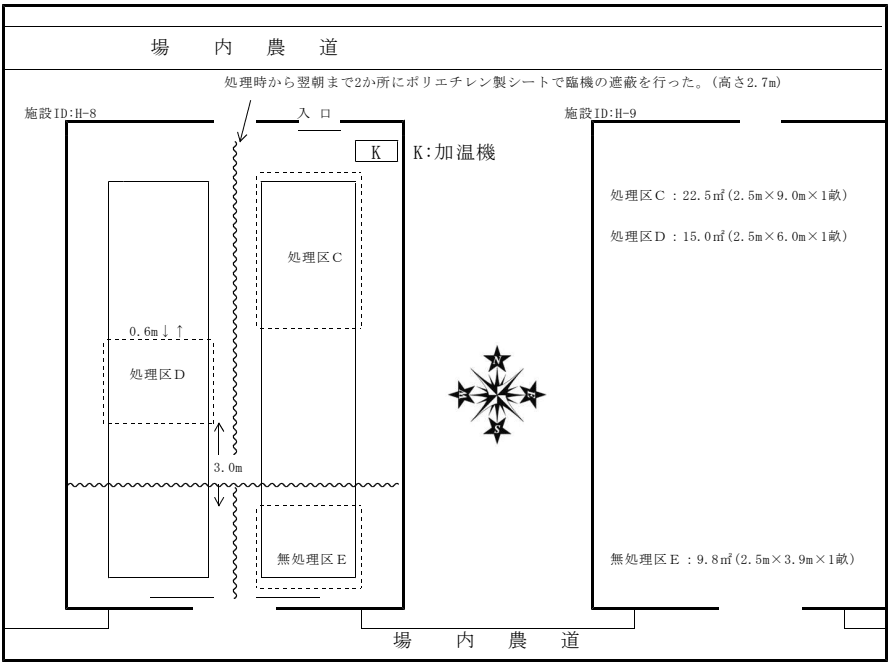
(2)施設の場合、面積・容積・高さ 150㎡(6.0m×25.0m), 450㎡, 最高位3.7m

(3)試験区の配置図(試験区全体および周辺農地等の状況がわかるように記入して下さい。記入できない場合は別紙としても構いません)

ア)下口内の点と点を結び、処理区および無処理区の配置関係を作図して下さい。果樹1樹は点を○で囲んで表し、必要に応じて枝の伸長方向を記載して下さい。

イ)試験区間および試験区と無処理区間の距離を記入して下さい。

ウ)圃場の畝方向、方位および圃場の傾斜方向を記入して下さい。水田は給水口および排水口を記入して下さい。



[illegible]

区 分 処理月日	処理方法の詳細、 処理時の環境条件等	処理時の使用器具（機械）、樹幹塗布、湛水散布時の水管理、 土壌湿和時の深度・土壌水分、種子消毒時の水温・液比等	処理時刻、処理時の天候を含む処理日の天気概況 特に降雨の有無と降雨時間、処理時および処理直後の風が試験に及ぼした影響について記入する
9月30日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB1500Li-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 PM 3:02～ 天候:曇り 風の影響はなかった。処理後の日中の天気は晴れ。
10月07日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB1500Li-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 PM 3:35～, 3:20 ～ 天候:曇り 風の影響はなかった。処理後の日中の天気は曇り一時雨。
10月14日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB1500Li-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 PM 2:30～, 3:30～ 天候:曇り 風の影響はなかった。処理後の日中の天気は曇り。
10月21日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB1500Li-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 AM 10:57～, 11:27～ 天候:晴れ 風の影響はなかった。処理後の日中の天気は晴れ。
10月27日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB1500Li-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 AM 11:38～, 11:50～ 天候:晴れ 風の影響はなかった。処理後の日中の天気は晴れ。
11月03日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB1500Li-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 AM 10:38～ 天候:小雨 風の影響はなかった。処理後の日中の天気は小雨時々曇り。
11月10日	丸山製作所製 バッテリー噴霧機MSB1500Li-A+狭角コーンノズル 茎葉散布		処理時刻 AM 10:24～ 天候:雨 風の影響はなかった。処理後の日中の天気は曇りのち晴れ。

(1) 展着剤	使用した区番号	一	展着剤名	濃度または量
---------	---------	---	------	--------

(2) 備考

1 2 . 試料採取（試料番号は試料送付時に「送付カード」に記入したものを記載する）

区 分 採取月日	処理区C 試料番号	処理区D 試料番号	無処理区E 試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料番号	試料採取時刻と天候	試料採取順（区番号順）	試料送付量	試料送付月日
1 1 月 1 0 日	C－1		E					雨 AM 7:25～7:30, 8:06～8:10	E → C	E：15kg以上/11個 C－1：9kg以上/6個	1 1 月 1 0 日
1 1 月 1 1 日	C－2							晴れ AM 7:04～7:08	C	C－2：7kg以上/6個	1 1 月 1 1 日
1 1 月 1 3 日	C－3							晴れ AM 8:09～8:14	C	C－3：7kg以上/6個	1 1 月 1 3 日
1 1 月 1 7 日	C－4	D						晴れ AM 8:52～8:56, 8:57～9:01	D → C	D：10kg以上/6個 C－4：9kg以上/6個	1 1 月 1 7 日
月 日											月 日
月 日											月 日

区 分 採取月日	送付試料について（該当項目に○を付し、必要に応じてその原因を記載する）
1 1 月 1 0 日	1. 試料の大きさは（通常） 2. 熟期は（通常） 3. その他（－） 4. 原因
1 1 月 1 1 日	1. 試料の大きさは（通常） 2. 熟期は（通常） 3. その他（－） 4. 原因
1 1 月 1 3 日	1. 試料の大きさは（通常） 2. 熟期は（通常） 3. その他（－） 4. 原因
1 1 月 1 7 日	1. 試料の大きさは（通常） 2. 熟期は（通常） 3. その他（－） 4. 原因
月 日	
月 日	

（1）試料採取方法

使用した器具（機械）、採取方法の詳細、
採取後乾燥等のための輸送方法を記載

処理区、無処理区ともに区境を除き、かつ試験区の全体よりハサミを用いて果実を採取し、試験施設の入口付近に駐車した車両まで手で運び、
車内に準備したカゴに果実を静かに入れた。なお、カゴには包装資材を敷き、試験区毎にそのカゴおよび使い捨て手袋を新しいものに交換、ハサミは水道水で洗浄した。

（2）採取後の調製・梱包方法

試料採取後の加工、水洗い、根等の除去、風乾、乾燥、
脱粒・脱すり等の方法、雨後の試料調製方法および試料の梱包方法を記載

試料は1個毎に包装資材で包み、それを2重にしたポリ袋に入れ口は縛らず、果実の下側より2枚重ねにした
安全キャップ（小）でくるんだ。その試料は試験区毎に安全キャップ（大）および包装資材を敷いたダンボール箱に入れその上部の空間を包装資材と安全キャップ（大）で埋めた。
なお、試験区毎に別梱包した。また、無処理区試料のみ1回に12個送付するため2箱に分けて梱包、送付した。

（3）試料送付先

分析機関： 株式会社 化学分析コンサルタント

（4）試料の輸送方法

到着日指定、温度指定、
輸送会社等

ヤマト運輸株式会社の便で、送付翌々日着および冷蔵を指定し送付した。

（5）備考

気 象 表

観測地点および試料調製場所 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 一般社団法人 日本植物防疫協会 宮崎試験場内 当該試験施設

記号；○：薬剤処理日
△：試料採取日

気温：平均気温（ 1 時間毎） 降水量：日界 時
（ 25 年） 測定時刻 午前 時

月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
9	気温（施設内温度）																														25.6	
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																														○	
	区記号（試料番号）																														D	
1 0	気温（施設内温度）	26.7	26.9	26.5	23.5	22.5	27.1	27.3	27.0	28.2	28.5	26.8	23.7	21.2	23.5	22.3	21.7	20.4	19.7	20.2	22.0	22.2	22.7	21.3	24.1	20.9	20.8	19.1	19.3	19.8	20.3	19.1
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取							○							○							○					○					
	区記号（試料番号）							C D							C D							C D						C D				
1 1	気温（施設内温度）	21.2	21.1	20.8	20.9	19.0	20.5	21.0	19.3	19.6	18.5	18.6	17.9	17.7	18.9	19.8	18.5	18.6	16.2													
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取			○							△○	△		△				△														
	区記号（試料番号）			C						E, C-1	C	C-2		C-3				D, C-4														
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															
	気温（施設内温度）																															
	降 水 量																															
	薬剤処理／試料採取																															
	区記号（試料番号）																															

薬剤処理日（ガス抜き等を含む）、試料採取日等を記号で記入する。なお施設試験の場合は該当する記号を「施設内温度」欄へ、露地試験の場合には「気温」欄へそれぞれ記入する。

また薬剤処理日へは該当する区記号、試料採取日へは該当する試料番号を当該欄へ記入する。

測定機器：気温 T & D おんどとり T R－7 1 Ui

6. 過去 1 年間に作付けした作物および使用した農薬

平成 2 4 年秋 (すいか)

平成24年10月5日 フラード乳剤 1000倍,

平成 2 4 年冬 (——)

12月11日 ネットリフェース粒剤 20kg/10a 全面土壌混和处理

平成 2 4 年冬 (結球レタス)

12月20日 ネオキック粒剤 20kg/10a 定植当日全面土壌混和处理,

エノカットフアイト粉剤20 22.5kg/10a 定植当日作条混和处理

平成25年1月22日, 29日, 25日 エノカットフロアール40 1000倍

1月23日 スピリタス水和剤 1000倍, ダユール1000 1000倍

平成 2 5 年春 (すいか)

4月03日 ジェンダール水和剤 600倍, エルスタン水和剤 3000倍, スタークル顆粒水溶剤 2000倍

4月18日 エルスタン水和剤 3000倍, スピリタス水和剤 1000倍, チェス顆粒水和剤 4000倍

平成 2 5 年夏 (——)

7月29日 テロブ 30^g/_{10a}全面土壌処理



試験を実施した施設



処理区D第一回処理日の9月30日
(雌花開花前)



10月7日
(受粉直後)



10月14日
(果実肥大)



10月21日
(果実肥大)



10月27日



11月3日



11月10日



11月10日（無処理区試料）



11月11日（試料C-2）



11月13日（試料C-3）



11月17日（試料D）



11月17日（試料C-4）

